

米州開発銀行（IDB）日本信託基金による
スリナムにおける水上太陽光発電開発支援 開始式

9月2日（火）10時（スリナム時間）より、米州開発銀行（IDB）日本特別基金の対スリナム支援における水上太陽光発電開発支援に関する開始式が実施されました。

開始式は、ラッセル・スリナムIDB事務所次席が進行を務め、日本大使館からは平山大使が参加し、挨拶の言葉を述べました。開始式には、清水IDB日本理事、フランケル・スリナム国営石油公社電力部門部長、サンデル・スリナム財務省開発金融部長等が出席しました。

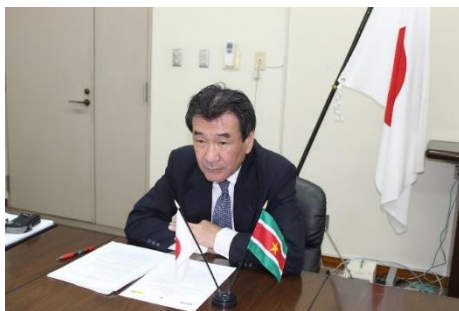
平山大使は、挨拶の中で、日本特別基金を活用したプロジェクトの開始に当たりIDBとスリナム政府への感謝を述べ、地域において、本件のような日本の知見が活かされたプロジェクトがより多く実施されることを願うと述べました。また、将来期待される経済成長を見据えて、再生可能エネルギー導入が重要であると強調した上で、本件の実施がスリナムにける再生可能エネルギーの更なる活用に向けた道を切り開くことになると述べました。

清水IDB日本理事は、事業開始に携わった関係者の尽力に感謝するとともに、気候変動対策は喫緊の課題であり、IDBは持続可能な開発を達成するために再生可能エネルギーの導入支援を続けていくと述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でスリナムに対する支援を実施していく考えです。

（プロジェクト概要）

本件は、水上太陽光発電に関する適切な戦略・政策・規制の枠組みの構築を支援するとともに、他国で培われた専門知識を用いて、アフォバカ水力発電ダム貯水湖において水上太陽光発電設備の実現可能性調査を行うことによって、スリナムにおける再生可能エネルギー開発を促進することを目的としており、予算は30万米ドルです。



平山大使



開始式の様子

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp